学校番号	１２０６

令和８年度　情報科

教科	普・情報	科目	（学）自己表現（情報編Ａ）	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

課題作成を通して、自分の伝えたい情報を分かりやすくまとめ、相手に伝える方法について学び、情報社会の中で他者との関わりを持つための方法・手段を学習します。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】 ・コンピュータの操作についての技能を習得し、情報社会での他者との関わり方について理解を深める 【思考力、判断力、表現力等】 ・情報機器を活用して、情報を適切に収集・処理・表現する能力を高める。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自己理解を深め、コミュニケーション能力を身に付けるとともに、他者を理解するための人間性を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	プレゼンテーション等における基礎的な資料作成の技能を習得するとともに、情報社会での他者との関わり方について理解を深めようとしている。	自分の伝えたいことを分かりやすく表現し、相手の伝えたいことを正しく理解することができる。また情報技術を適切かつ効果的、創造的に活用しようとしている。	情報技術や情報社会に関心がある。プレゼンテーションを含めた自己表現に対して追求している。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)

前期	序編	プレゼンテーションソフトの使い方	a:コンピュータを正しく準備し、ソフトを活用することができる。 b:ソフトの機能を通して、自分で伝えたいことを表現することができる。 c: プレゼンテーション発表に関心を持ち、学習に積極的に取り組もうとしている。	実習課題 授業ﾌﾟﾘﾝﾄ 実技ﾃｽﾄ	実習課題 授業プリント	授業観察 授業ﾌﾟﾘﾝﾄ
	第一編	簡単なスライドショーの作成 アニメーションの設定 プレゼンテーションを行う上での注意点	a:プレゼンテーションソフトの様々な機能を理解し、正しく使うことができる。 ことができる。 c: プレゼンテーション発表に関心を持ち、学習に積極的に取り組もうとしている。	実習課題 授業ﾌﾟﾘﾝﾄ 実技テスト	実習課題 授業プリント	授業観察 授業ﾌﾟﾘﾝﾄ
	第二編	文書作成ソフトの使い方	a:コンピュータを正しく準備し、ソフトを活用することができる。 b:ソフトの機能を通して、自分で伝えたいことを表現することができる。 c:文書作成に関心を持ち、学習に積極的に取り組もうとしている。	実習課題 授業ﾌﾟﾘﾝﾄ 実技テスト	実習課題 授業プリント	授業観察 授業ﾌﾟﾘﾝﾄ
後期	第三編	プレゼンテーションの作成 原稿の作り方 プレゼンテーションの構成 画像・音声等の追加	a:ソフトの様々な機能を理解し、正しく使うことができる。 b:ソフトの様々な機能を用いて自分の伝えたいことを表現することができる。 c: プレゼンテーション発表に関心を持ち、学習に積極的に取り組もうとしている。	実習課題 授業ﾌﾟﾘﾝﾄ 実技テスト	実習課題 授業プリント	授業観察 授業ﾌﾟﾘﾝﾄ
	第四編	発表時の話し方	a: 発表をイメージした資料作成ができる。 b:自分の伝えたいことを分かりやすく発表することができる。 c: プレゼンテーション発表に関心を持ち、学習に積極的に取り組もうとしている。	実習課題 授業ﾌﾟﾘﾝﾄ 実技テスト	実習課題 授業プリント	授業観察 授業ﾌﾟﾘﾝﾄ

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度